

## 【IPA】情報セキュリティ 10 大脅威 2021 を発表

### 「テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃」が初登場

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）は、前年に発生した情報セキュリティ事故や攻撃の状況等から脅威を選出し、上位 10 位を公表しています。

「情報セキュリティ 10 大脅威 2021」は、2020 年に社会的影響が大きかったトピック等を「10 大脅威選考会」の投票により選出し、「情報セキュリティ 10 大脅威 2021」として順位を決定されました。

脅威情報を知ることもセキュリティ対策です。最新の情報を基にセキュリティ対策を推進しましょう。

順位	組織	昨年 順位	順位	個人	昨年 順位
1	ランサムウェアによる被害	5	1	スマホ決済の不正利用	1
2	標的型攻撃による機微情報の窃取	1	2	フィッシングによる個人情報等の詐取	2
3	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	<b>NEW</b>	3	ネット上の誹謗・中傷・デマ	7
4	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4	4	メールや SMS 等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	5
5	ビジネスメール詐欺による金銭被害	3	5	クレジットカード情報の不正利用	3
6	内部不正による情報漏えい	2	6	インターネットバンキングの不正利用	4
7	予期せぬ IT 基盤の障害に伴う業務停止	6	7	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	10
8	インターネット上のサービスへの不正ログイン	16	8	偽警告によるインターネット詐欺	9
9	不注意による情報漏えい等の被害	7	9	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	6
10	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	14	10	インターネット上のサービスへの不正ログイン	8

組織の順位では、「ランサムウェアによる被害」が 1 位となっています。データを暗号化するだけでなく、ネットワークに侵入して盗み出したデータを公開すると脅す手口が発生し、国内企業も被害に遭い大きな話題となりました。

また、「テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃」が初登場で 3 位となっています。新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴うテレワークを狙った攻撃が確認されるなど、業務環境の変化が攻撃の対象となっています。

基本的な対策のほか、テレワークの規定や運用ルールの整備、教育の徹底が重要です。



出典：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）情報セキュリティ 10 大脅威 2021  
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2021.html>



毎年 2 月 1 日から 3 月 18 日までは、「サイバーセキュリティ月間」です。セキュリティ対策を見直しましょう。

滋賀県警察本部サイバー犯罪対策課（代表）077-522-1231